

# 遠賀川の洪水時のゴミをキャッチ！！

～洪水時に遠賀川河口堰に流れてくるゴミを効率的に回収するための塵芥捕捉施設の工事に着手します～

遠賀川河川事務所では

- ①洪水時に河口堰に流れ着くゴミの効率的な回収
- ②ゴミが衝突することによるゲートの損傷の抑制
- ③河口堰全開操作を実施した場合に海域へ流出するゴミの低減

以上の目的のため河口堰上流右岸(水巻町猪熊)に塵芥捕捉施設を設置する工事に着手します。



塵芥捕捉施設は、河川敷を約1.5m掘り下げ塵芥捕捉池を造成し、上流向きに張り出した網場(あば)により、洪水時に流れて来るゴミを塵芥捕捉池へ流れ込ませるものです。

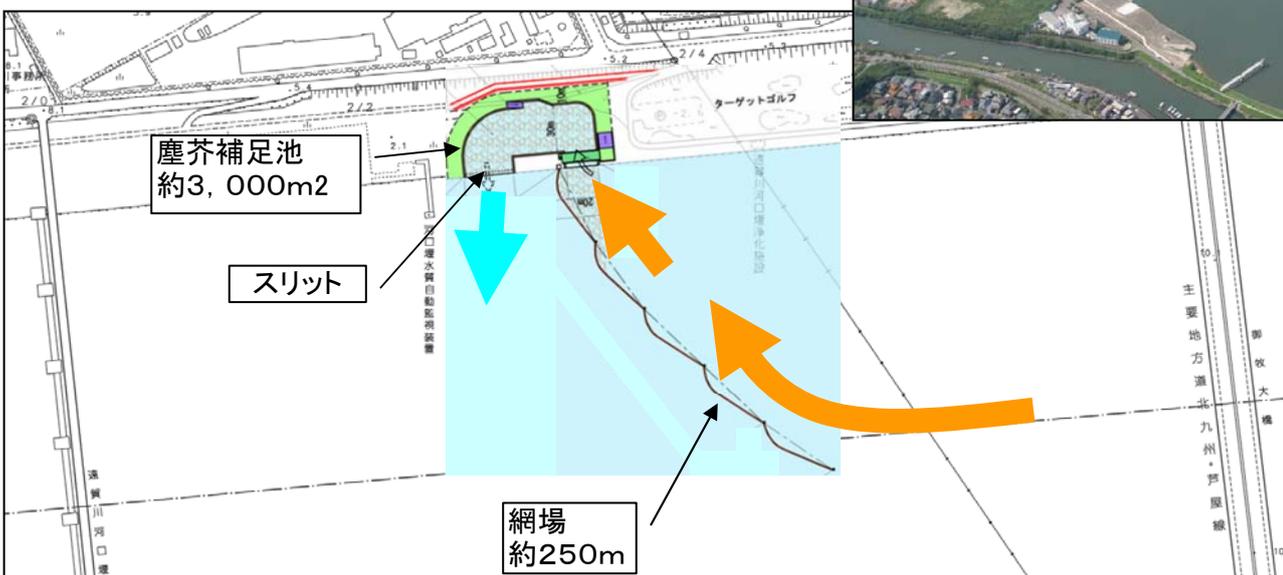
施設を設置する事により、現在実施しているゴミの回収に比べ、より効率的且つ迅速な回収が可能となる見込みです。

なお、この施設は、河川敷の高さを大きく上回るような大規模な洪水の場合は、洪水を安全に流すため網場が外れ、捕捉機能はなくなりますが、昨年7月の既往最大となった洪水流入量程度では十分効果を発揮するよう設計しています。

工事は、平成23年10月頃より開始し、平成24年度中には完成する予定です。

その後5カ年程度でモニタリング調査及び効果の検証、改良等を実施していく計画です。

河川敷利用の多い箇所でもあるため、工事期間中は安全管理に留意し、工事を進めていきます。



遠賀川水系では、例年河川でのゴミ不法投棄が多数確認されています。

遠賀川河川事務所は、巡視等により確認した不法投棄物については予算の範囲内で撤去につとめています。また、地域の方々による河川清掃活動等も盛んに行われています。しかし、河川に捨てられた全てのゴミを回収するのは困難な状況です。また、河川内のヨシ、アシ等の植物も洪水時にはゴミとともに流下し遠賀川最下流の河口堰に流れ着きます。

流れ着いたゴミは、ゲートの損傷や河川環境悪化の原因となるため洪水後回収し、分別・処分を行い、その費用として例年約2,000万円程度を要しています。

また、大規模な出水の際には、洪水を安全に流すため河口堰のゲートを全開する操作を実施しています。その結果、河口堰に流れ着いたゴミは海域に流出します。



### 【現在のゴミ回収状況】



洪水後のゴミ状況



ゴミの囲い状況



ゴミ集積状況



ゴミ水揚げ状況

### 【この記者発表に関する問い合わせ先】

国土交通省 遠賀川河川事務所 管理課  
課長 篠原 昌秀

TEL 0949-22-1830  
係長 松本 秀一

～ 発表先 ～

●直方地区

●田川地区

●飯塚地区

●北九州地区